

製品名: チオレドキシン還元酵素 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02732**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 71 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	TXNRD1
別名	TR; TR1; TXNR; TRXR1; GRIM-12
遺伝子 ID	7296
SwissProt ID	Q16881
免疫原	ヒト TXNRD1 の合成ペプチド

背景

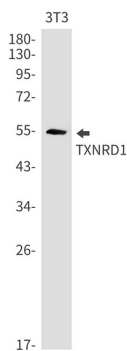
アイソフォーム 1 は、グルタレドキシン活性とチオレドキシン還元酵素活性を有し、アクチンとチューブリンの重合を誘導し、細胞

膜突起の形成につながります。アイソフォーム 4 はエストロゲン受容体 α および β の転写活性を増強しますが、アイソフォーム 5 は β 受容体の転写活性のみを増強します。また、アイソフォーム 5 はインターフェロン β とレチノイン酸の組み合わせによって誘導される細胞死を媒介します。

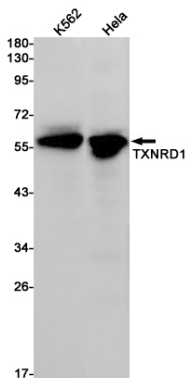
研究分野

シグナル伝達

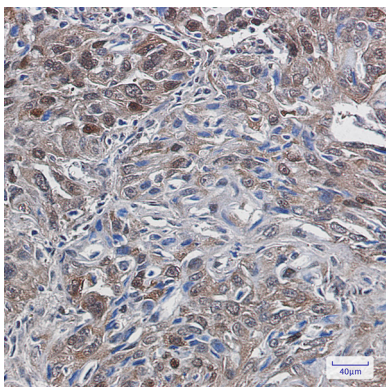
画像データ



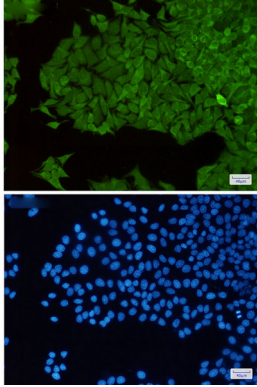
チオレドキシン還元酵素 1 抗体を使用した 3T3 溶解物中の TXNRD1 のウエスタンブロット分析。



TXNRD1 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の TXNRD1 のウエスタンブロット分析。



TXNRD1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



TXNRD1 抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中の TXNRD1 (緑) の免疫細胞化学分析。